

2021年7月7日

課題名：放射性ヨウ素内用療法における尿中ヨウ素排泄量の検討

◆研究の目的と概要◆

放射性ヨウ素内用療法が有効に行われるためにヨウ素制限が必須であり、当院では治療前の尿中ヨウ素排泄量が50 $\mu$ g/day以下となることを目標としています。本研究では、治療前のヨウ素制限が達成できることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2009年1月から、2021年6月までの間に、甲状腺分化癌に対して放射性ヨウ素内用療法を施行された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

当院で甲状腺分化癌に対して放射性ヨウ素内用療法を施行する際に、入院時に診療ケアの一環として行っている蓄尿検体の結果を用います。

◆研究方法◆

本研究は入院時の検査データを電子カルテより利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

内分泌代謝科 研究責任者 西澤 衡

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明